



SEIDANREN
生団連

国民生活産業・消費者団体連合会

生団連ニュースレター Vol.96

生団連ニュースレターでは、「国民の生活・生命を守る」という使命のもと、様々な活動に取り組む生団連の最新情報を皆様にお伝えしています。

2023年1月号

埼玉生団連 第3回会合 開催



▲ 柿沼 トミ子 会長
(埼玉県地域婦人会連合会 会長)



▲ 川野 幸夫 副会長
(株式会社ヤオコー 代表取締役会長)

2023年10月27日(金)15:00～17:00 TKP大宮駅西口カンファレンスセンターにて、埼玉生団連第3回会合を開催いたしました。9企業・団体 13名の会員の皆様にご参加いただきました。

第一部の勉強会では、公益財団法人 流通経済研究所 上席研究員 石川友博氏を講師にお招きし、「食品ロス発生の原因となっている商慣習について」と題し、講演を行っていただきました。

第二部では、会員の皆様より、食品ロス削減に対する自社でのお取り組みをご紹介いただくなど、活発な意見交換が行われました。



▲ 石川 友博 氏
(公益財団法人 流通経済研究所 上席研究員)

【講演 概要】

- 納品期限を1/3から1/2に緩和する実証実験を行った結果、製造業では未出荷廃棄の削減、流通では納品期限切れによる廃棄の削減が確認できた。店頭で消費者ヘイントビューを実施しても、納品期限が緩和されていることを感じた消費者はおらず、販売への影響はないと思われる。
- 賞味期限の大括り（年月日表示から年月表示へ）も進んでいる。賞味期限逆転リスクが低減し、柔軟な在庫移動が可能となったことにより、製造業での食品ロス削減効果が生まれている。

【出席者からの主なご意見】

- 自社でも食品ロス削減に向けた様々な工夫や取り組みを推進している。取引先の協力も得て推進することで効果が出ている。
- 日本の消費者は、品質に対する要求が高く、それが食品ロスにつながっている側面があるのではないかと。食料自給率が低い日本においては、企業と消費者が一体となって食品ロス削減に向けて取り組みを進めていく必要があり、生団連から消費者への意識喚起活動にも期待したい。

生団連 第1回 シンポジウム 国家財政の見える化実現に向けて

会員限定

参加無料
事前申込

テーマ 先の見えない国家財政・・・私たちはどう向き合えばよいか？

国家財政が抱える多くの課題は、国民一人ひとりの現在、そして未来に大きく関わります。日本においては、歳入の4割を借金に依存する体質を脱却できず、国の借金は1,275兆円を超えるまでに膨れ上がっています(23年9月末時点)。本シンポジウムでは4名の講師を招き、日本の明るい未来の実現を目指し、“見えづらい”国家財政に対し、皆様と一緒に真剣に向き合います。

日時

2024

1.19 FRIDAY 13:00 (12:15開場)
16:00

第一部

13:05～13:30 生団連会長・小川賢太郎による講演
13:35～14:00 株式会社文藝春秋取締役・新谷学氏による講演
14:05～14:30 早稲田大学教授・中林美恵子氏による講演
14:35～15:00 衆議院議員・林芳正氏による講演

第二部

15:10～15:55 講師4名によるパネルディスカッション

会場

品川インターシティ H棟
(東京都港区港南 2-15-4)

問い合わせ

生団連事務局(担当:早坂・門永)
TEL: 03-6833-0493 Mail: jimu@seidanren.jp

SEIDANREN
生団連

国民生活産業・消費者団体連合会 会長
株式会社ゼンショーホールディングス
代表取締役会長兼社長
小川賢太郎



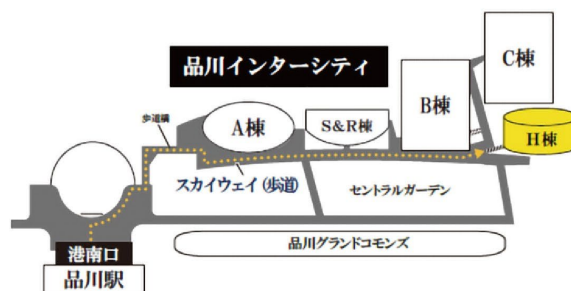
株式会社文藝春秋 取締役
文藝春秋総局長
新谷学



早稲田大学教授
(元 衆議院議員)
中林美恵子



衆議院議員
(前 外務大臣)
林芳正



SEIDANREN
生団連

ニュースレター

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会(生団連) 出水・石井 ☎: 03-6833-0493 ✉: jimu@seidanren.jp
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 URL: https://www.seidanren.jp/